

第23回通常理事会(29.5.24)議決
第5回定時評議員会(29.6.14)議決

平成28年度 事業報告書

事業年度 自 平成28年4月01日
至 平成29年3月31日

公益財団法人 河野臨牀医学研究所
東京都品川区北品川1丁目28番15号

平成28年度事業報告

(はじめに)

平成28年度は、安全・安心で高質の医療の提供をすべく、大学各診療科研究室との連携を深め、診療体制を強化し、臨床研究成果の発表を増やすとともに、公益財団法人として将来に向け安定した経営基盤、財務基盤を構築すべく、業務の効率化に取り組み、成果を高めた。

また、急性期から在宅までの一貫したリハビリテーション等臨床医学研究と地域で必要とする施設の整備及びセラピスト等の育成による地域保健医療の確保と質の向上を図るため(仮称)品川リハビリテーションパーク(品川区立図書館との合築)施設の整備を進めた。

(事業活動)

1 難病その他治療困難な疾患の医学的研究事業(公1)

(1) 基礎医学研究

胆道閉鎖症の肝再生を目指し、細胞培養法を中心とする細胞生物学的研究において、胆道閉鎖症の肝組織から、正常肝臓ではほとんど認めない小型の肝細胞(成熟肝細胞の前駆細胞)の出現を認めた。加えて、同細胞の出現機構の解明の一環として、培養上清を分析した結果、肝細胞増殖因子として知られるHGFを検出した。これより、小型の肝細胞の出現にはHGFの出現が大きく関与している可能性が示唆された(論文、*In Vitro Cell Dev Biol* 2017 印刷中、学会発表としては、平成29年6月開催の日本細胞生物学会に2題発表予定)。以上の結果を踏まえて新たに3件の新規の再生医学研究課題に取り組んだ。

黄色ブドウ球菌性表皮剥脱毒素のガングリオシドによる不活化とSPR法による各種ガングリオシドと表皮剥脱素の結合解析の研究成果は論文(英語)に取り纏め中である。

指導面としては、米国の再生医学関連学術雑誌のエディターとして、また、日本組織培養学会の研修講師として、再生医学の発展に貢献した。

更に、当財団内の臨床医学研究、予防医学研究の研究者育成を図るため、臨床分野の医学研究会を開催し(4月にずれ込み)、発表方法及び研究の進め方のアドバイス並びに研究ガイドライン及び倫理面についての研修指導を行った。

(2) 臨床医学研究

安全・安心で質の高い医療を提供すべく、病院と研究所の緊密な連携のもと、医療現場の課題を研究にフィードバックし、かつ患者のQOL向上、家族等環境

要因にも配慮した臨床研究を進め、研究成果は、学術雑誌への論文発表や関連学会の学術集会における発表等が27件行われた。

リハビリテーション効果や漢方効果観察については大学等との共同での臨床研究を進めた。

毎年実施の臨床医学研究の質向上と臨床医学研究者のリサーチマインド育成のための医学研究会は、業務の都合で平成29年4月にずれ込み実施した。

また、患者のQOLを高めるため介護職員の介護研究発表会を実施した。

引き続き、新薬の有効性及び安全性を確認するための治験に積極的に協力し、従前からの治験5件に加え、変形性関節症患者等対象の新規の治験2件を実施した。

新しい治療方法の安全性、有効性、確実性等の評価等の検証を進め、学会等での発表を増やすとともに、市販後調査に協力した。

(3) 予防医学研究

予防医学センターでは、メンタルヘルス不調等に対して組織における内的・外的要因による環境の変化と発症の因果関係等についてストレスチェックを基礎にした「組織診断」を実施し、健診データ等結合させ、より早期に疾患を発見し、より有効な対策を講じられるよう方法論確立のための研究を進めた。

また研究成果を啓蒙活動、産業医活動等で還元した。様々な雑誌等でも脳機能の研究等を基にした予防策などが多く取り上げられた。

引き続き、PHR構想（健康・医療・介護情報を個人が効率的に収集・活用できる仕組構築）を実現できる真の予防医学研究センターになるよう計画的に事業を進めた。なお、本年度は個人情報保護体制を強化すべく整備を進めた。

(4) 研究成果の普及・啓発

紀要（年報 Vol.66、英文機関誌 Vol.32）については、現在2016年版として発表できるよう準備中である。

上記の通り学会等での発表、論文発表（英文）を増やし研究成果の普及に努めた。

平成28年11月27日第1回品の輪講演会として品川区等の講演を得て品川区民対象に健康講話実施（90名出席）、平成29年3月19日開催のしながわケアフェス2017に参画、講演を行った。

その他品川総務担当者会議、救急業務連絡協議会、学校等で8回講演実施。地域の行事には看護師等が参画して、健康相談等臨床研究の成果を活用した活動を行った。

(5) 教育・研修

第56回河医研医学会総会（研究発表会）を平成27年3月30日に開催、ポスターセッションと総会発表を併用、27題の発表があり、活発な議論がなされた（内外から200名が参加）。

品川区リハビリテーション・ネットワーク（品の輪）を4回開催し、症例検討、グループ討議、講演会を実施した。

品川区、品川ケア協議会と連携し、区内の訪問看護・介護職員、ケアマネジャー、リハビリテーション職員、看護師等を対象とする講演会を平成29年2月20日実施（講師を派遣）した。その他医学勉強会等で2回講義を行った。

国内の研究活動に資するため日本培養学会細胞指導士の指導にも努めた。

救命救急士再教育実習（5名）、その他リハビリテーション臨床実生受入（6校20名）、介護職研修等を実施した。

2 附属施設の運営

(1) 附属第三北品川病院

診療体制を一新し、東京女子医科大学の整形外科主任教授を院長に招き、整形外科は5人体制で脊椎脊髄病外来を立上げ、難易度の高い脊髄症等の診療を実施した。外科では昭和大学消化器・一般外科と連携し部長に迎え内視鏡診療を活発に実施した。脳神経外科では9月に昭和大学と連携し部長を迎え、脳疾患に対する診療の強化を進めた。東邦大学と連携した糖尿病外来その他側弯症特診、リウマチ特診、骨粗鬆症特、肩肘関節特診など専門外来を高め、地域の医療の確保と質の向上、診療機関との緊密な信頼関係構築に努めた。

地域のニーズに応え、都内で手薄の夜間における整形外科疾患の高齢者救急等の強化に取り組み、年間約3千台以上受け入れた。

総合カンファレンスの実施等、安全で安心な医療の提供、医師・看護・看護補助者等の質の向上に努めた。地域連携室活動強化、地域防災への協力等地域連携を強化した。

病院機能評価更新受審(3rdG : Ver.1.1)し認定を受けた。

病院規模に見合った医業収益を確保すべく、業務の効率化、合理化等に取り組み原価低減を進めた。収益で患者や働く職員の環境の整備、医療器機の高度化等を段階的に進め、患者等への還元、人材確保・育成に努めている。

(2) 附属品川リハビリテーション病院

東京慈恵会医科大学リハビリテーション医学研究室と連携し回復期脳卒中患者のrTMS治療、慢性期脳卒中患者の拘縮に対するボトックス治療及び共同研究を進めている。大学からは平成29年4月更にリハビリテーション専門医1名

増員が決定した。リハビリテーション職員の育成、成果の発表、地域の人材育成に努めた。リハビリテーションの休日等の実施、訪問実施を増やした。

昭和大学病院の協力病院として脳卒中連携の推進強化、第三北品川病院との大腿骨頸部骨折等のパスを進めた。

老朽化対策と地域保健医療の確保と質の向上、病床区分の変更による効率的な病院運営、シームレスなリハビリテーション、地域包括ケア構築への協力、人材育成や地域防災対策等に取り組むため、品川区有地に移転建設する品川リハビリテーションパーク計画(仮称)を策定し、東京都の各種施設整備補助事業について申請するなど事業を進めた。

(3) 附属北品川クリニック(予防医学センター)

情報システムの整備を進めるとともに、個人情報保護体制の整備を進めた。ストレスチェックは33事業所で開始した。

業務を効率化し少人数スタッフで迅速、効率的で質の高い検診業務が行えるよう改善を進めた。29年度には外部評価を受審する計画である。

引き続き、業務の効率化と受診者サービスの改善を図るべく施設内の整備を進めた。

(4) その他運営に関すること

地域の防災対策整備や地域包括ケア体制構築に積極的に協力している。

ホームページのリニューアルを行い、より分かり易く情報を提供できるよう図った。

各施設では、各種委員会を見直し、より効果的な取組みができるよう図るとともに、環境等の点検を行い、整理整頓、無駄の削減、スペースの有効活用について検討し改善を進め、また防犯・防災、非常時訓練等を進めた。

(管理部門)

1 理事会・評議員会の開催

平成28年5月25日

・第14回通常理事会

開催場所：北品川クリニック 研修室

決議事項：平成27年度事業報告及び附属明細書の承認の件

平成27年度計算書類及び附属明細書並びに財産目録承認の件

定時評議員会に推薦する評議員候補者名簿の件

定時評議員会の日時、場所及び目的である事項の件

品川リハビリテーションパーク(仮称)整備事業計画の件

報告事項：研修推進状況、経営改善状況、施設運営状況報告など告
出席等：決議に必要な出席理事の数4名、出席7名、監事出席1名

平成28年6月15日

・第4回定時評議員会

開催場所：北品川クリニック 研修室

決議事項：議事録署名人の選出の件

平成27年度事業報告及び附属明細書の承認の件

平成27年度計算書類及び附属明細書並びに財産目録承認の件

評議1名選任の件

報告事項：各執行理事からの執行状況報告、品川リハビリテーションパーク整備事業計画報告、中長期経営計画報告、平成28年度事業計画書及び収支予算書並びに資金調達及び設備投資見込み

出席等：決議に必要な出席評議員の数5名、出席7名、欠席2名

監事出席1名、理事出席6名

平成28年7月8日

・第15回臨時理事会

開催場所：附属第三北品川病院 会議室

決議事項：入札参加条件の決定の件

入札価格等の設定の件

出席等：決議に必要な出席理事の数4名、出席5名、欠席2名

監事出席1名

平成28年7月27日

・第16回臨時理事会

開催場所：附属第三北品川病院 会議室

決議事項：(仮称)品川リハビリテーションパーク及び品川区立図書館新築工事に伴う独立行政法人福祉医療機構よりの借入の件

(仮称)品川リハビリテーションパーク及び品川区立図書館新築工事に伴う銀行よりの借入の件

出席等：決議に必要な出席理事の数4名、出席7名、監事出席1名

平成28年9月21日

・第17回臨時理事会

開催場所：附属第三北品川病院 会議室

決議事項：(仮称)品川リハビリテーションパーク及び品川区立図書館新築
工事の建設業者及び契約内容の決定(入札経過報告)の件
(仮称)品川リハビリテーションパーク及び品川区立図書館新築
工事に関する品川区との土地賃貸借契約内容の決定の件
(仮称)品川リハビリテーションパーク及び品川区立図書館新築
工事に関するWAM及び金融機関からの借入(前回以降に提示
された条件に対する審議)の件

出席等：決議に必要な出席理事の数4名、出席6名、欠席1名、
監事出席1名

平成28年12月28日

・第18回臨時理事会

開催場所：附属第三北品川病院 会議室

決議事項：幹部会議規程一部改正(経営執行会議規程)の件
財団事務局規程の一部改正の件

出席等：決議に必要な出席理事の数4名、出席7名、監事出席2名

平成29年1月25日

・第19回臨時理事会

開催場所：附属第三北品川病院 会議室

決議事項：組織体系の見直しの件
稟議規程の見直しの件

出席等：決議に必要な出席理事の数4名、出席7名、監事出席2名

平成29年2月20日

・第20回臨時理事会

開催場所：附属第三北品川病院 会議室

決議事項：平成28年度事業計画の見直しの件(設備投資計画内容の変更
及び資金調達見込みの変更)
品川リハビリテーションパーク事業の人材確保等のためITAと
コンサルティング契約を締結する件
次回の通常理事会開催日程の件

出席等：決議に必要な出席理事の数4名、出席7名、監事出席2名

平成29年3月22日

・第21回通常理事会

開催場所：附属第三北品川病院 会議室

決議事項：O-arm ナビゲーションシステムの導入の件

手術用顕微鏡の導入の件

平成 29 年度事業計画書及び収支予算書等の承認の件

財団組織及び稟議規程の見直しの件

平成 29 年度役員報酬（4～6 月）の件

定時評議員会の日時及び場所の件

報告事項：職務執行状況報告、次回理事会日程

出席等：決議に必要な出席理事の数 4 名、出席 6 名、監事出席 2 名

2 各種届出に関する事項

(1) 平成 27 年度事業報告等届出

平成 28 年 6 月 29 日付で平成 27 年度の事業報告等の定期提出書類を、内閣府に対し電子申請した。

(2) 評議員の異動の届出

平成 28 年 3 月 31 日付で加藤義治評議員が退任したので、その登記を行い、平成 28 年 4 月 18 日付で内閣府に対し電子申請した。

平成 28 年 6 月 15 日付で山口一夫評議員が退任し、藤原裕祐氏が評議員に就任したので、その登記を行い、平成 28 年 7 月 11 日付で内閣府に対し電子申請した。

(3) 平成 29 年度事業計画書・収支予算書等の届出

平成 29 年 3 月 29 日付で平成 29 年度の事業計画書及び収支予算書並びに附属書類を、内閣府に対し電子申請した。

3 公益財団法人の運営等に関する情報公開

過去 5 年間の貸借対照表を電子公告し、公益法人移行後の事業計画等及び事業報告等を Web サイトで公開している。その他の情報公開としては、定款、役員及び評議員の報酬等並びに費用に関する規程等をホームページに掲載している。

4 内部管理体制の整備

理事会は理事 7 名、そのうち外部の理事 2 名で構成、業務運営が全体として適切かつ実効的に機能するよう、12 月から原則毎月開催することとし、重要な業

務執行の迅速な決定と理事の職務の監督を行っている。

組織体系の見直し、稟議規程の見直しなど規程の整備・周知を進めるとともに、保存、管理を行い、役員が必要に応じて閲覧できる体制を整えている。

理事の職務の執行が効率的に行われることを確保するため、従来の幹部会議を見直し、位置付け等を明確にした経営執行会議に改め、理事会付議事項の事前検討、施設間関連業務の事前調整などで理事会の効率的な意思決定を確保している。

各附属施設の運営については、経営執行会議における事業進捗管理により、適切に点検している。

平成30年度から会計監査人設置をすべく、事前体制点検、選定準備等を進めている。

5 庶務事項

(仮称)品川リハビリテーションパーク及び品川区立図書館新築工事については、平成28年9月30日品川区との土地賃貸借契約締結及び金融機関3行とシンジケートローン契約を締結。平成28年10月21日(仮称)工事の安全祈願祭を挙行し、工事は順調に進んでいる。なお工事については入札の結果、予定価格を約5億円下まわる額で契約を締結することができた。工事に関する各種補助事業については申請済みであり、平成28年度分の補助金については、平成28年5月計画通りの額で交付と決定した。

なお、平成28年度事業報告には、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので、附属明細書を作成していない。

1. 貸借対照表

平成29年3月31日

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	608,672,292	895,082,292	△ 286,410,000
未収金	506,308,117	456,535,677	49,772,440
前払費用	6,314,825	7,041,937	△ 727,112
貯蔵品	22,856,607	22,414,340	442,267
流動資産合計	1,144,151,841	1,381,074,246	△ 236,922,405
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	10,000,000	10,000,000	0
基本財産合計	10,000,000	10,000,000	0
(2) 特定資産			
定期預金	40,000,000	40,000,000	0
建物	36,189,267	43,443,267	△ 7,254,000
車輛運搬具	8,225,000	14,367,500	△ 6,142,500
什器備品	19,710,008	29,680,004	△ 9,969,996
特定資産合計	104,124,275	127,490,771	△ 23,366,496
(3) その他固定資産			
建物	691,540,706	744,413,141	△ 52,872,435
構築物	12,491,841	12,711,887	△ 220,046
車輛運搬具	12,360,393	21,693,924	△ 9,333,531
什器備品	224,507,762	236,957,454	△ 12,449,692
土地	354,495,947	354,495,947	0
建設仮勘定	1,716,456,924	50,444,900	1,666,012,024
ソフトウェア	141,268,705	55,207,870	86,060,835
敷金	30,452,964	9,996,400	20,456,564
出資金	510,100	510,100	0
その他固定資産合計	3,184,085,342	1,486,431,623	1,697,653,719
固定資産合計	3,298,209,617	1,623,922,394	1,674,287,223
資産合計	4,442,361,458	3,004,996,640	1,437,364,818

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
II 負債の部			
1. 流動負債			
買掛金	114,121,039	89,805,038	24,316,001
未払金	145,452,071	153,927,369	△ 8,475,298
未払費用	43,498,973	48,638,145	△ 5,139,172
未払消費税等	7,292,200	6,114,800	1,177,400
預り金	31,226,813	30,130,191	1,096,622
短期借入金	0	20,000,000	△ 20,000,000
1年内返済			
長期借入金	499,416,000	481,137,000	18,279,000
リース債務	87,644,557	60,599,628	27,044,929
賞与引当金	79,350,000	69,000,000	10,350,000
流動負債合計	1,008,001,653	959,352,171	48,649,482
2. 固定負債			
長期預り金	1,200,000	1,200,000	0
長期借入金	2,562,342,000	1,293,758,000	1,268,584,000
リース債務	216,635,334	138,869,877	77,765,457
退職給付引当金	283,458,000	242,212,070	41,245,930
固定負債合計	3,063,635,334	1,676,039,947	1,387,595,387
負債合計	4,071,636,987	2,635,392,118	1,436,244,869
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
地方公共団体補助金	38,649,267	46,623,267	△ 7,974,000
民間補助金	8,225,000	14,367,500	△ 6,142,500
寄付金	17,250,008	26,500,004	△ 9,249,996
指定正味財産合計	64,124,275	87,490,771	△ 23,366,496
(うち特定資産への充当額)	(64,124,275)	(87,490,771)	(△ 23,366,496)
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	306,600,196	282,113,751	24,486,445
(うち特定資産への充当額)	(10,000,000)	(10,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(40,000,000)	(40,000,000)	(0)
正味財産合計	370,724,471	369,604,522	1,119,949
負債及び正味財産合計	4,442,361,458	3,004,996,640	1,437,364,818

2. 正味財産増減計算書

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	5,210	2,800	2,410
特定資産運用益			
特定資産受取利息	10,000	0	10,000
事業収益	3,432,998,226	3,277,643,121	155,355,105
受取補助金等			
受取地方公共団体補助金	0	100,000	△ 100,000
受取国庫助成金	399,000	0	399,000
受取補助金等振替額	14,116,500	12,559,000	1,557,500
受取寄付金			
受取寄付金	800,000	260,000	540,000
受取寄付金振替額	9,249,996	9,249,996	0
雑収益	30,393,893	26,024,977	4,368,916
経常収益計	3,487,972,825	3,325,839,894	162,132,931
(2) 経常費用			
事業費			
役員報酬	17,496,000	18,143,999	△ 647,999
給与手当	1,780,108,785	1,750,219,755	29,889,030
臨時雇賃金	248,186,206	264,678,430	△ 16,492,224
退職給付費用	60,868,906	56,902,060	3,966,846
賞与引当金繰入額	69,000,000	60,000,000	9,000,000
福利厚生費	13,467,073	13,312,282	154,791
旅費交通費	2,605,305	2,784,338	△ 179,033
通信運搬費	15,476,622	14,002,826	1,473,796
減価償却費	197,052,118	167,696,124	29,355,994
消耗品什器備品費	3,341,434	8,395,306	△ 5,053,872
材料費	355,966,380	314,801,075	41,165,305
消耗品費	39,650,847	31,435,116	8,215,731
修繕費	78,373,625	67,249,041	11,124,584
印刷製本費	3,205,662	5,344,481	△ 2,138,819
燃料費	701,945	900,984	△ 199,039
光熱水料費	60,975,060	68,996,168	△ 8,021,108
賃借料	66,910,628	70,684,546	△ 3,773,918
保険料	8,742,966	9,136,854	△ 393,888
諸謝金	3,727,304	3,780,755	△ 53,451

租税公課	851,405	1,151,574	△ 300,169
委託費	253,444,639	259,274,354	△ 5,829,715
研究研修費	6,898,465	7,121,105	△ 222,640
支払利息	25,737,552	26,766,703	△ 1,029,151
控除対象外消費税等 雑費	75,303,447	69,978,538	5,324,909
管 理 費	64,767,195	38,395,627	26,371,568
役員報酬	4,141,316	4,317,865	△ 176,549
給与手当	5,189,070	5,203,244	△ 14,174
退職給付費用	305,874	285,940	19,934
旅費交通費	278,390	246,721	31,669
通信運搬費	34,271	18,000	16,271
減価償却費	133,789	133,000	789
消耗品費	48,082	42,000	6,082
諸謝金	87,557	76,556	11,001
租税公課	2,600	4,500	△ 1,900
雑費	71,667	212,964	△ 141,297
経常費用計	3,463,152,185	3,341,692,831	121,459,354
当期経常増減額	24,820,640	△ 15,852,937	40,673,577
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
貸倒引当金戻入額	0	1,322,000	△ 1,322,000
当期経常外収益計	0	1,322,000	△ 1,322,000
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	334,195	41	334,154
当期経常外費用計	334,195	41	334,154
当期経常外増減額	△ 334,195	1,321,959	△ 1,656,154
当期一般正味財産増減額	24,486,445	△ 14,530,978	39,017,423
一般正味財産期首残高	282,113,751	296,644,729	△ 14,530,978
一般正味財産期末残高	306,600,196	282,113,751	24,486,445
II 指定正味財産増減の部			
受取補助金等			
受取民間補助金	0	10,500,000	△ 10,500,000
一般正味財産への振替額	△ 23,366,496	△ 21,808,996	△ 1,557,500
当期指定正味財産増減額	△ 23,366,496	△ 11,308,996	△ 12,057,500
指定正味財産期首残高	87,490,771	98,799,767	△ 11,308,996
指定正味財産期末残高	64,124,275	87,490,771	△ 23,366,496
III 正味財産期末残高	370,724,471	369,604,522	1,119,949

3. 財 産 目 録

平成29年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額	
(流動資産)				
現金預金	手元保管現金	公益目的事業の運転資金として	2,037,907	
	当座預金(商工中金 他)	公益目的事業の運転資金として	233,717,297	
	普通預金(商工中金 他)	公益目的事業の運転資金として	365,741,408	
	定期預金(商工中金 他)	公益目的事業の運転資金として	6,500,000	
	郵便振替(ゆうちょ銀行)	公益目的事業の運転資金として	675,680	
未収入金	医業未収入金	公益目的事業実施に伴う健診・治療事業等の短期債権	516,526,849	
	未収入金	公益目的事業実施に伴う治験事業等の短期債権	7,352,561	
	貸倒引当金	公益目的事業実施に伴う短期債権の貸し倒れに備えたもの	△ 17,571,293	
前払費用	前払賃借料 他	公益目的事業実施に伴う短期債権	6,314,825	
貯蔵品	医薬品	公益目的事業の在庫	11,302,270	
	診療材料	公益目的事業の在庫	11,554,337	
流動資産 合計			1,144,151,841	
(固定資産)				
基本財産	定期預金	三菱東京UFJ銀行五反田支店	10,000,000	
特定資産	定期預金	さわやか信用金庫品川支店	40,000,000	
その他固定資産	建物	建物附属設備	36,189,267	
	車輛運搬具	検診車	8,225,000	
	什器備品	医療用機械備品	19,710,008	
	建物	1574.56㎡ 附属北品川クリニック、財団事務局 東京都品川区北品川1丁目66番地3 鉄骨鉄筋コンクリート陸屋根地下1階地上7階建	公益目的保有財産 97% 管理運営に供する財産 3%	17,303,308 535,154
		5,112.62㎡ 附属第三北品川病院 鉄骨鉄筋コンクリート・鉄筋コンクリート造 陸屋根地下2階 地上5階建 他 東京都品川区北品川3丁目194番地の1 他	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している	414,500,388
		3113.56㎡ 附属品川リハビリテーション病院 鉄骨鉄筋コンクリート・鉄骨 陸屋根地下1階 地上11階建 東京都品川区北品川1丁目37番地の1	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している	282,214
	446.06㎡ 研究所 鉄筋コンクリート 陸屋根地下1階 地上3階建 東京都品川区北品川3丁目195番地29	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している	16,168,323	
	建物附属設備	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している	242,751,319	
構築物	浄化槽 他	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している	12,491,841	
車輛運搬具	検診車 他	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している	12,360,393	
什器備品	医療用器械備品	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している	140,321,619	
	その他器械備品	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している	84,186,143	

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額	
土地	308.04㎡ 附属北品川クリニック 財団事務局 東京都品川区北品川1丁目66番3	公益目的保有財産 97% 管理運営に供する財産 3%	5,335,000 165,000	
	1,546.82㎡ 附属第三北品川病院 東京都品川区北品川3丁目194番1 他 3筆	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している	291,920,242	
	858.77㎡ 附属品川リハビリテーション病院 東京都品川区北品川1丁目37番1 他 3筆	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している	35,075,705	
	163.07㎡ 研究所 東京都品川区北品川3丁目194番29	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している	22,000,000	
	建設仮勘定	品川リハビリテーションパーク新築工事 他	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している	1,716,456,924
	ソフトウェア	医療電子カルテ式 他	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している	141,268,705
敷金等	看護師・医師寮 他	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している	30,452,964	
出資金	さわやか信用金庫 他	管理運営に供する財産	510,100	
固定資産合計			3,298,209,617	
資産合計			4,442,361,458	
(流動負債)				
買掛金		公益目的事業に供する薬品・医療材料購入等の未払分	114,121,039	
未払金		公益目的事業に供する検査料等の未払分	145,452,071	
未払費用		公益目的事業の給料等の未払分	43,498,973	
未払消費税			7,292,200	
預り金	源泉所得税等	公益目的事業に従事する職員の源泉所得税等の預り分	15,670,313	
	入金保証金	公益目的事業である	15,556,500	
1年内返済長期借入金	商工中金大森支店 他	公益目的事業に供する借入分	499,416,000	
リース債務	医療機器他に対するもの	公益目的事業及び管理目的の業務に使用している機器等の債務	87,644,557	
賞与引当金	従業員に対するもの	公益目的事業及び管理目的の業務に従事する職員の賞与の引当金である	79,350,000	
流動負債合計			1,008,001,653	
(固定負債)				
長期預り金	職員に対するもの	公益目的事業の医師寮敷金相当の預り分	1,200,000	
長期借入金	商工中金大森支店 他	公益目的事業に供する借入分	2,562,342,000	
長期リース債務	医療機器他に対するもの	公益目的事業及び管理目的の業務に使用している機器等の債務	216,635,334	
退職給付引当金	従業員に対するもの	公益目的事業及び管理目的の業務に従事する職員の退職給付金の引当金である	283,458,000	
固定負債合計			3,063,635,334	
負債合計			4,071,636,987	
正味財産			370,724,471	

監事監査報告書

公益財団法人 河野臨牀医学研究所
代表理事 横山 孝 殿

平成 29 年 5 月 15 日

監事 櫻井 康晴 ㊟

監事 鈴木 義一 ㊟

私たち監事は、平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。